

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区
スローガン

ロータリーはステージ・
みんなが輝く！

高田ロータリークラブ
会長方針

ロータリーに共に参加し、
共に学び、共に楽しもう



2024-2025年度

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

第2560地区ガバナー 南雲博文

高田ロータリークラブ会長 飯塚宏佳

幹事 細野仁

広報・会報・雑誌委員会：
佐藤勝則 箕輪賢一 倉田 亮

第23回例会 2月14日(金)

No.23

会長挨拶 ●飯塚 宏佳



こんにちは。今年度半分を終えたところで会長挨拶の材料が尽きています。という事で今回は私の仕事、土木舗装工事業での経験に照らし合わせて、今起きている陥没事故やその他安全神話が以前に比べ崩れてきていることに対しての私見を述べていきたいと思えます。

まず、道路の陥没は珍しくないという事です。原因にはやはり埋まっているコンクリート構造物があります。現在使用中のものはもちろん、かつて使用されていたが今は新しいものに切り替わっている場合もあります。古いものを完全に撤去すれば良いのですが、コストや撤去した後の地盤の支持力(強度)を考えたら埋め殺しをすることもあります。というか最近私は現場に出ないので分かりませんが、以前はありました。

基本的には大きな破損は無いと思われませんが、今回もそうですが水の流れるがそこに加わると破損が小さくとも陥没の原因となります。アスファルトやコンクリートの下には路盤があり、直径40mm程度の大きな石から細かな砂までを攪拌し最適な粒度分布にしたものを転圧して締固め、強度を保ってあります。しかしそこに水の流れるが加わるとコンクリートの破損個所に砂が流れて行って粒度分布が崩れ次第に強度が落ち空洞が出来ます。今回の事故も最初はそういった所から始まったのではないかと思います。人口密集地では下水道管の直径が大変大きいので陥没規模もそれに比例して大きくなったのだと思われれます。

上越でも陥没があった場合、我々土木や舗装を生業とする業者に陥没原因の調査と復旧の依頼が来ます。舗装をハグリ、路盤を掘って自社だけで対応できない場合は管轄の役所と協議し方向性を決めます。ですので道路の陥没を見つけた際は市役所や地域振興局、あと家の近所であれば町内会長に報告をして早目の対処をお願いしてください。それにより防げる事故もあります。

下水道に限らず土木等の整備が早かった地域から次第に老朽化が問題になってきています。上下水道や橋などさまざまな構造物がこれから老朽化が進んでいきます。それに対し我々建設業は何かと叩かれることも多く従業員の数は以前の1/3・1/4に減り会社の存続も危ういと言うのが現状です。今回の問題を受けて国や地方の予算が少しでもこの問題に対応し、日本の安全神話が継続されることを願います。

さて本日は会員卓話です。石田先生からお話を頂きますので、皆様ご清聴よろしくお願います。



出席報告

出席率 100%

ニコニコ BOX 紹介

橋本眞孝君：先日のオークション出席できずすみませんでした。せめてニコニコ BOX で協力させていただきます。

小池猛紀君：オークション欠席しましたのでニコニコします。

石田誠夫君：過日、T氏、S氏 M氏と中国語研究会を行いました。役満四暗刻で上がることでき、皆様からご祝儀、お小遣いを頂戴しました。

セレモニー

米山功労者表彰：齋藤尚明君

委員会報告

親睦委員会：2月のお誕生日各お祝い

社会奉仕委員会：オークション報告 (351,000 円)

会員インフォメーション



佐藤勝則君：退会の挨拶



大島 誠君：「伝統芸妓文化の復活」地域活性化プロジェクトについて

幹事報告

配布物：週報No.21・22、ロータリーの友2月号

報告：2/20 合同例会(高田・直江津・越後春日山)、2/21・28 振替休日

会員卓話：

知っておいて損はない最新眼科治療

石田誠夫君



スリランカからのスタッフを招聘していましたが急に手術を受ける事となり来日できませんでした。彼は非常に残念がっていました。

急遽私がピンチヒッターとして卓話を行う事となり、「最近の眼科医療の進歩」に関してお話させて頂きました。祖父、父、私、息子と4代に渡って眼科医療を行っていますが、祖父、父が生きていたら目が点になるような超速な進歩です。白内障に関してはほぼ点眼麻酔だけで手術可能となり、乱視矯正、多焦点眼内レンズ(遠・中・近)は可能となり、硝子体手術・網膜剥離手術は日帰り、緑内障に関しては失明原因の1位ですが治療・点眼水の種類も増え、最近では東京大学眼科教授の指導のもとプリザーフロマイクロシャントという新しい術式を新潟県で最初に導入しました。近視、乱視、遠視を治す技術に関し私は1990年代から行っており、レーシックはフェムトセカンドレーザーを使う事で治療が安全に正確に行う事ができ、県内ではほぼ当院のみとなっています。最近では強度近視の方には眼内コンタクトレンズが主流となりつつあり結果も良好です。

こちらに関しては息子と娘が担当して行っています。小児の近視抑制治療も点眼水やナイトコンタクトレンズの利用で近視進行を遅らせる様になっています。角膜移植に関しても当院では内皮移植が主流となってきておりスリランカからの角膜提供 453 眼となりました。

今年4月19日に当院は開院110周年を迎えますが、今後尚御支援・御厚誼の程お願いし、地域にあっても中央に匹敵する眼科医療を目指したいと思っております。

蛇足ですが、ロータリーの素晴らしい仲間と麻雀を行い役満 四暗刻を上がらせていただきました。

エピローグ

ロータリーの仲間は素晴らしい



二代目老雀会

2月9日

(高橋孫左衛門氏、佐藤憲二氏、本山秀樹氏、演者)



米山功労者表彰：齋藤尚明君



ニコニコ BOX 紹介



<お誕生日> 遠藤 巖君
<結婚記念日> 宮下啓三君